



# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第1次整備提案書

### ※ 記入上の注意

- 2号様式はページを増やさず、必ず6ページ以内でまとめてください。
- 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- 整備提案審査委員会には、白黒コピーを配付しますのでご注意ください。
- 資料をA4判2ページまで添付することができます。その場合、添付資料の左側に15mm以上余白を確保してください。

### 1 整備提案の概要について

|  |                         |
|--|-------------------------|
| <p>整備提案名<br/>(25字以内)</p>                 | <p>駅前 プレイバック・プレイパーク</p> |
| <p>提案グループ名<br/>(25字以内)</p>               | <p>NPO法人 W. Coパレット</p>  |
| <p>整備場所の所在地<br/>(町名又は丁目まで記入)</p>         | <p>青葉区市ヶ尾町 市ヶ尾第三公園</p>  |
| <p>整備場所の位置<br/>(整備場所周辺の地図をはり込んでください)</p> |                         |

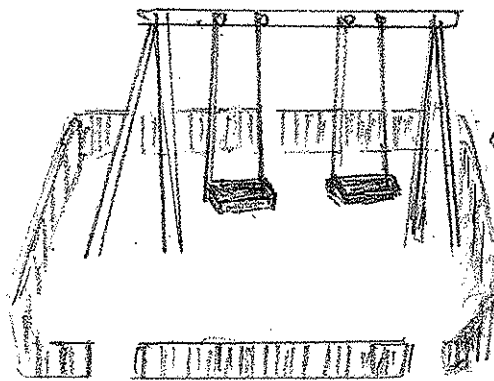
|   |  |
|---|--|
| <p><b>整備提案の概要</b><br/> (どのような整備を提案するのか簡潔に記入してください)</p>                                    | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 斜面の地形を利用した「泥んこ滑り台」の製作<br/> 子ども達が斜面に泥を固めて自分たちで滑り台をつくる。製作の過程で子ども達が泥んこ遊びも出来る。</li> <li>② 木登り練習用遊具と木登りが出来る木の設定<br/> 木登りが安全に出来るように、木登り練習台のような遊具と「木登りの木」を設定して木登りができるようにする。</li> <li>③ 裸になったグラウンドに摘んで遊べる草花（例：レンゲ、数珠玉）を植え、育てる<br/> 子ども達と保護者が一緒にレンゲの種をまき育てる。また、数珠玉を植え育て遊びに使うことができる。</li> <li>④ ブランコの柵の設置<br/> ブランコの現在の柵は、小さな子どもの接触の危険性があるため、小さな子ども達が入ることができない柵の設置が必要。</li> <li>⑤ 剥き出しになった木の根っこへの盛り土</li> </ol>   |
| <p><b>整備提案の動機や背景</b><br/> (整備に対する地域のニーズや整備によって解決したい地域の課題、整備の必要性などに触れながら箇条書きで記入してください)</p> | <p>市ヶ尾第三公園は、数個のモニュメントを持つ駅前公園として整備されており、公園の半分は砂場やアスレチックがあり、起伏もあり樹木も多い等、駅前公園でありながら自然に近い環境を有している。</p> <p>しかし、斜面の芝生はなくなり滑り台と化している。斜面の至る所に木の根っこが剥き出しとなっており、危険な状態である。グラウンドも露地となっているところもある。また、フェンス脇や斜面では木登りが無秩序におこなわれており、落下等の危険もある。さらに、ブランコを取り囲む柵も現在の高さでは小さな子ども達の侵入を防止することはできず、危険である。</p> <p>そこで、斜面は自然な泥の滑り台とし、露地には草をはやし、剥き出しの根っこには土を盛り、木登りは木登り練習台や「木登りの木」を設け、ブランコには安全な柵を設けることで、子ども達が自然に親しみながら安全に遊ぶことが可能な公園として再整備する必要がある。</p> <p>その際、現在の公園にある自然を最大限活用し、自然と触れあうなかで子ども達が自然を遊具として活用する姿を取り戻したい。木があったら木登りをし、花があったら摘んで遊び、土の斜面があったら滑り、泥遊びをする、といった、子ども達が本来もっていた遊ぶ心を引き出す「プレイパーク」を駅前公園という場所に取り戻す「プレイバック・プレイパーク」事業を展開する必要性を痛感している。</p> <p>親子と地域の大人達と一緒に公園整備に継続的に参加することで、子ども達の笑い声が人々の通勤通学の交通結節点にある駅前公園に響きわたることで、地域社会が一体となって子ども達を守り育てるコミュニティを取り戻す試みを展開することが必要と考える。</p> |

整備したい施設がどのような人たちに利用され、地域にどのように貢献すると考えますか？

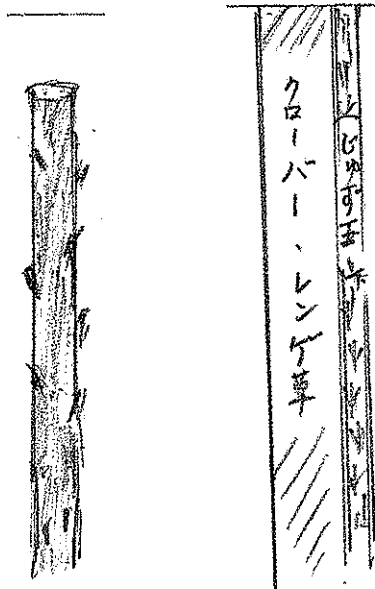
- ・ 子ども達：外で遊ぶ事がなくなった子ども達が、公園で自然を相手に自ら工夫して安全にのびのびと遊べるようになる。
- ・ 親子：子どものニーズにあった公園整備に親子が共に参加することで、親子の絆が深まる。同時に、公園整備を通じて、親子が地域に対する関心を深めることもできる。
- ・ 地域住民：地域と一緒に駅前公園の整備に参加する事で、公園への関心が増し、公園を介した地域コミュニティが形成される。
- ・ 地域環境：明るく整備された公園が整備されることで、地域の治安面が向上する（子どもの笑い声のする場所は、非行少年や不審者のスポットにはならない！）

## 2 整備提案の具体的な内容について

整備場所の現在の状況を写真等で示すとともに、具体的な整備の内容について文章やイメージスケッチ等で表現してください

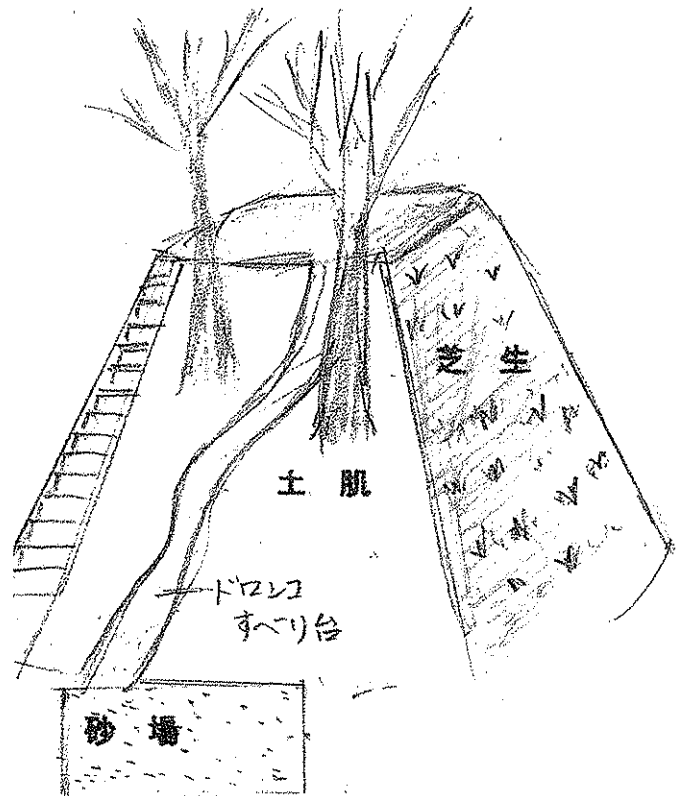


→ ブランコ柵



木登り練習台

露地



総工事費（概算） 約 500 万円

### 3 提案の創意工夫について

|  |   |
|--|---|
| <p>提案内容におけるアイデアやユニークさ</p>  | <p>【かつて遊んでいた遊びの復活、自然がそのまま遊具】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土で出来た滑り台ができる。またその製作に子どもが参加する過程（どろんこ遊び）そのものが子どもにとって貴重な体験となる。また、土での滑り台であるため、形を自在に変化させることが可能。</li> <li>・ 木登りの練習台を設置し、木登り体験の希薄な子ども達の能力向上を図る。また、子どもの能力レベルに応じた木登り可能な木を指定し、能力に応じた安全な木登りへの挑戦が可能。</li> <li>・ 草花を育てることで情操が深まる。さらに、草花を使って遊ぶことも可能。</li> </ul> <p>【整備過程が子どもの貴重な体験、コミュニティづくりの契機】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公園の整備に親子が参加する過程（どろんこ遊び、草花の栽培等）が子どもにとって貴重な体験となる。親子の絆を深めるとともに、地域コミュニティの形成への契機として機能する。</li> <li>・ ベッドタウンと揶揄される青葉区の駅前公園に親子と地域住民が一体となったプレーパークを整備することで、地域コミュニティの重要性を青葉区民に伝える試みとする。</li> </ul> |
| <p>提案を実現するために必要と考えられる地域の資源（ヒト・モノ・カネ）のうち、現在すでに獲得し、今回の提案で活用するもの<br/>注4)</p>  | <p>(人材面)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域で活動するNPO法人とそのボランティアが、公園での子ども達の活動を見守ることが可能（安全な子どもの活動を支える）</li> <li>・ 近隣学童保育クラブの親子が整備に参加</li> <li>・ 近隣の子育て支援施設の利用者（親子）が整備に参加</li> </ul> <p>(整備面)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの活動に関連する各種学識経験者協力による遊具等の検討を実施</li> </ul> <p>(金銭面)</p> <p>まち普請事業から、不足分はバザー等の活動</p>  |
| <p>提案を実現するために必要と考えられる地域の資源（ヒト・モノ・カネ）のうち、現在は不足しているが今後獲得していきたいもの<br/>注5)</p> | <p>(人材面)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域住民（自治会等）の理解と協力。</li> <li>・ 公園利用者・利用団体の整備の参加。</li> <li>・ 近隣大学との連携によるボランティアの参加。</li> </ul> <p>(整備面)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公園設計、及び樹木の専門家との相談。</li> <li>・ 公園管理者（行政）との連携。</li> </ul> <p>(青葉区 地域カリアップ事業提案も予定)</p>  |
| <p>整備した施設の維持管理や運営に、提案グループや地域住民等がどのようにかかわっていきますか？</p>                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「公園愛護会」の設立呼びかけと設立準備。</li> <li>・ 地域住民とともに公園愛護会設立し管理運営をする。</li> <li>・ こどもの見守り。</li> <li>・ 近隣住民とともに樹木や草花、遊具の点検。</li> <li>・ 管理資金と管理理解のためのイベントの開催。</li> <li>・ 近隣大学との連携で管理のための知識や学生ボランティアの運営参加。</li> </ul>   |

注4)「地域の資源のうち現在すでにあるもの」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例
  - ・地域のPTAから協力を受けられそう。
  - ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例
  - ・整備に必要な材料を安く入手できそう。
  - ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例
  - ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。

注5)「地域の資源のうち現在は不足しているが今後獲得していきたいもの」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例
  - ・地権者の了承を得たい。
  - ・整備工事を手伝ってくれる人を集めたい。
  - ・市や区の協力を得たい。
  - ・専門家の協力を得たい。
  - ・整備した施設の維持管理を行う組織を地域につくりたい。
- 「モノ」の例
  - ・整備に必要な材料を安く入手できる方法を考えたい。
- 「カネ」の例
  - ・地域でバザーを企画するなど、少しでも資金を集める方法を考えたい。

#### 4 計画性について

|   |
|---|
| <p>整備提案を応募することについて、地権者（土地所有者、借地権者）や実質的に使用権利を持っている人、会社又は行政機関の対応状況を記入してください<sup>注6)</sup></p> <p>「公園愛護会」の組織化を地域の自治会に相談してきた、土木事務局は直近の公園改修は平成5年であり、次回の改修は10年以上先であるとのことである。「公園愛護会」を組織化するには至っていないが、公園の親子利用を促進することに関しては、理解を得ている。</p> |
|---|

注6) 事前に必ず地権者等に整備提案の内容及び1次コンテストに応募することについて説明してください。

|  |  |
|--|--|
| <p>2次コンテストに向けた活動計画（打合せ、勉強会、地権者・近隣住民・自治会町内会・関係機関への説明及び合意形成、2次コンテストの応募書類準備など）を具体的に記入してください</p> |  |
| 6 月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門家の決定</li> <li>・ 活動助成金の交付申請</li> <li>・ 専門家を交えた勉強会</li> <li>・ 近隣住民、団体とワークショップ</li> </ul>  |
| 7 月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベント告知</li> <li>・ 子ども向けイベント（紙飛行機大会）</li> <li>・ 公園アンケート実施（発送）</li> <li>・ イベント告知</li> </ul> |
| 8 月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小さい子ども向けイベント（水遊び）</li> <li>・ 公園アンケート実施（回収、分析）</li> <li>・ ワークショップ告知</li> </ul>             |

|      |  |
|------|--|
| 9 月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公園を考えるワークショップ（近隣住民との合意づくり）</li> <li>・ 近隣住民、団体の協力取り付け</li> </ul> |
| 10 月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次コンテスト応募準備</li> <li>・ 2次コンテスト応募書類提出</li> </ul>                 |
| 11 月 |  |
| 12 月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次コンテスト</li> </ul>  |

### 5 特にPRしたい点について

|                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| <p>提案について特にPRしたい点があれば、自由に記入してください</p> | <p>市が尾駅前市の市が尾第三公園は、駅前という立地特性や、徒歩圏の戸建て住宅や集合住宅に子どもが少なくなったこと等もあり、利用者が減っていました。しかし、子育て支援施設や学童保育を中心とする当NPO法人に関連する親子が使い始めた事もあり、賑わいを取り戻しつつあります。近隣の方も「久しぶりの子ども達の声が嬉しい!」とあって、ニコニコと見守っている方が増えています。</p> <p>公園は人が集まる場所です、人の輪を育む場所です。その中心には将来を担う子どもがいることが大切だと思います。大人が子どもを見守り、行き交う人が子どもと挨拶をし、言葉を交わす場所、そんな場に市が尾第三公園を私達の手で整備したいと思います。</p> <p>人の輪を育むためにも、人の心を和ませて想像力を育ませる自然の力は重要です。昔は「空き地」や「里山」が遊び場で、そこでは草花遊びや泥遊びが行われていました。駅前公園がそのような「プレイバック・プレイパーク」になることが必要です。出来合の遊具は子どもの想像力を高めたりしてくれませんが、自然は子ども達に合わせて子どもの体験を自ら高めてくれる遊具です。今ある公園の自然を有効に利用するなかで、子ども達が自らを成長させてくれる自然を愛し、そのことで子ども達も責任を持って公園を守り育てる役割を担う心を育むことが大切です。</p> <p>そして、利用している親子、地域住民、さらには駅を利用する広域の人々も、自らが積極的に関わりたくなるような駅前公園を整備したいと思います。</p> <p>子ども達を中心に地域の人々が集える場所づくりの仕掛けが市が尾第三公園に整備したいと思います。</p> |
|---------------------------------------|--|

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに☑を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報含まれていません。



